

第22回 夕張川流域会議 開催

◎日時 平成23年9月8日(木)

◆フィールドワーク 13:15～14:20

場所 夕張川中流域(新河道との切替地点、保原元二胸像前、清幌床止)

◆意見交換 14:50～16:30

場所 南幌町ふるさと物産館「ビューロー」会議室

移動中車内での説明の様子



フィールドワークの様子(清幌床止)



意見交換の様子

第22回夕張川流域会議は、前回会議で了承された「河川利用」をテーマにしたフィールドワークの第1回目が実施されました。フィールドワークでは、新水路の切り替え地点や保原元二胸像などを見て、夕張川の歴史的な治水事業の経緯を再認識したり、高水敷に整備されている「なんぼ

ろりバーサイド公園」の利用状況を確認しました。また、当初は清幌床止での川歩きを予定していましたが、あいにくの増水のため見学に変更となりました。意見交換では、夕張川の現状を把握し、課題を明確にするために今後3回程度フィールドワークを実施することが了承されました。

詳細は江別河川事務所ホームページへ

<http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/08isiken/02genba/23ebetu/index.html>

サケ・マス遡上調査

◎日時 平成23年9月18日(日) 9:00～14:30

10月1日(土) 13:30～16:30

◎場所 清幌床止(18日)

栗沢頭首工(18日、1日)

夕張川中流域では、栗山青年会議所、栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会、NPOくりやま等が2008年からサケ・マス稚魚の放流活動を行っていますが、こうした活動をうけて、上を確認しました。(※1)

※1 この調査は特別採捕許可を取得して実施されました。

9月18日(日)



サクラマス4尾(その他、サケ1尾、サクラマス2尾を目視確認)

10月1日(土)



サクラマス1尾、サケ1尾(その他、サクラマス2尾を目視確認)



夕張川シンポジウム2011 「サケ・マスが自然回帰する川づくり」

◎日時 平成23年10月1日(土) 18:00～20:30

2日(日) 9:00～12:00

◎場所 雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス、高橋の沢川

一日目のシンポジウムは、「サケ・マスが自然回帰する夕張川にするためにはどのような課題があるのか？」をテーマに、放流活動を行っている団体のほか、魚類研究者、河川管理者等が参加して行われました。魚道設置を地域全体の要望とするためには、下流域にも活動の輪を広げ

ることが大切であり、また広がる可能性があること、自然本来の川が持つ様々な機能を活かし、土砂コントロールがされる川づくりの重要性が指摘されました。翌日はサケ稚魚の放流場所である高橋の沢川で、河岸を石組みするなど水辺の活動拠点づくりが行われました。

1日目



シンポジウムの様子

2日目



高橋の沢川で石組み体験に参加したメンバー

◎日時 平成23年9月13日(火) 9:00～11:30
◎場所 清幌床止右岸

今年の川の楽習会は、南幌町みどり野小学校6年生32名と地域の団体がスタッフ参加して行われました。

中州の水溜りに網を入れると、エゾウグイ、フクドジョウ、イバラトミヨ、ウキゴリ、シマウキゴリ、トウヨシノボリ、スジエビ、モツゴ、ギンブナ等が捕れました。魚捕りのあとに行った川流れでは、水の楽しさに歓声が上がっていました。

夕張川・川の楽習会



たも網で魚捕り
「何が入っているかな～」

救命胴衣を着て「川流れ」

